

・19/10/21 「名古屋城天守復元 60 周年祭」名古屋市民オンブズマン 内田隆発言  
(名古屋市民オンブズマンによる半自動文字起こしアプリによる文字起こし)

内田：名古屋市民オンブズマンの内田と申します。

名古屋城をめぐる二つ裁判が行われています。

先ほど森さんが言われたのは「基本設計 8 億 4600 万を返せ、違法だ、出来てないから返せ」という「住民訴訟」という裁判が一つ。

あと一つは名古屋市民オンブズマンが訴えている「名古屋市が文化庁とのやりとりはどうか、情報公開しろ」という「情報公開訴訟」。この二つが行われております。その情報公開訴訟について少しお話をさせていただきたいと思います。

名古屋市は文化庁に頻繁に行って、いろいろ名古屋市の職員がやり取りをメモしてるんです。

そのメモはどうなっているんだ。情報公開請求という誰でもできる手法で入手したところ、このような形で文化庁の発言は全て真っ黒になっております。全く文化庁が何を言ってるかわからないんですよ。

これでもまだ公開されることになったぐらい。はじめ情報公開訴訟したときは、名古屋市が言ったことも全部真っ黒だった。

これじゃああかんだろうということで裁判をしているのですが、未だに文化庁が言ったことは真っ黒という状況です。

なぜ非公開にするんだということを今裁判でやってるのですが、名古屋市側はこんなことを言っております。

「文化庁と名古屋市職員が意見交換を行った内容について記載されており、非公開の場であることを前提とした率直な意見交換が実施されているにもかかわらず、そのような情報が公開されると、いわれなき非難を避けようとしたり、各々の立場等に拘束されたりすることで、多様かつ自由な意見が現れなくなり、円滑な議論検討が損なわれるおそれがある。」なんかわかったようなわからないような非常に抽象的な理由でみんな真っ黒にしている。裁判の中でさすがに裁判長も「これはどういうことなんですかと。あまりにも抽象的なんじゃないですか」ということを先月の裁判で話をしています。次回もう少し名古屋市側は具体的に「こういう理由で非公開するんですよ」ということを主張してくる予定です。名古屋市民オンブズマンの裁判はこのように進んでいるのですが、様々なその文化庁とのやりとりの裁判だけでなくいろんなことを情報公開請求しています。

名古屋城の現状変更にかかる名古屋市への確認事項への回答、文化庁からいろいろ聞かれて回答しているのは全部真っ黒です。さらにこっちも真っ黒。資料、全部真っ黒。笑いごとじゃないですよ。これ 1 枚 10 円で全部取りました。こんなみんな真っ黒。タイトルすら真っ黒なんですよ。(「いやあ」という声あり)

いやあって。これが名古屋市が進めようとしている木造天守閣の実態だと。全然わかんない

い。賛成するにも反対するもこれじゃあかんだらうということを今裁判で行っておりますので、今後ともぜひともご支援をよろしくお願いいたします。

司会者：情報公開制度っていうのはあれですか。

情報公開制度に全く驚くような、ね、公開しない理由が必要なんでしょ？

内田：情報公開請求というのは原則公開です。役所が持っている情報は全て原則市民に公開します。

でも例外的にこのような情報、プライバシーの問題、あと企業秘密が。あとは先ほど言ったこの交渉中。今検討中だからという理由で非公開っていうのは、例外的に許されているのですが、それが実際はこれです。その例外をずっと引き続けているのが名古屋城で、ここまでひどいのはほとんど見たことがない。名古屋市は他の事業はもう少し出てるんですよ。

でもなんで名古屋城に限ってこんなに非公開なのかっていうのは、いまだによくわかりません。これでも若干進んだようなんですが。肝心のところがわからないというのが現状です。

-----

内田：裁判の話はそういう話なんです、今ずっと市議会でいろんな議論をされていて、なかなか報道が、市議会が莫大な量を議論しているので、新聞などが書けないですが、私が気になったのは10月3日の市議会経済水道委員会です。名古屋城って505億円っていうんですが、運営費とかあと借金返すなどを含めて979億円もかかっている。それは全部入場料収入で払う予定だった。でも、名古屋市は、2022年12月の竣工を断念した。

だったら収入が減るんじゃないか、計画が狂ってくるんじゃないかというふうに市議が質問をして、「この979億円全て借金で賄うと、借金をするときは総務省の許可ですかね<sup>1</sup>。許可が必要だ、総務省に話をしたのか」という質問をしたところ、「今名古屋市は説明をしている」といったことが、話をしたのは、私は非常に関心を持ったと。

---

<sup>1</sup> 19/10/25 名古屋市財政局財政部財政課に電話で確認。名古屋城天守閣特別会計の財源である地方債は、市全体の市債の一部を充てている。名古屋市の市債については、平成28年4月地方交付税法等の一部を改正する法律施行により、総務省への届け出制となった。

・平成31年度名古屋市各特別会計予算に関する説明書

<http://www.city.nagoya.jp/zaisei/cmsfiles/contents/0000114/114729/31tokkaimeisai.pdf>

・19/9/25 名古屋市観光文化交流局長 松雄俊憲

平成30年度名古屋城天守閣特別会計に関する財務諸表を公表します

[https://www.nagoyajo.city.nagoya.jp/tenshu\\_blog/uploads/32381c5b98e3524d6bfcfa01ea426b8b.pdf](https://www.nagoyajo.city.nagoya.jp/tenshu_blog/uploads/32381c5b98e3524d6bfcfa01ea426b8b.pdf)

・平成31年2月5日（火）自治財政局地方債課長 伊藤 正志  
地方債制度等について 地方債制度の変遷

[http://www.soumu.go.jp/main\\_content/000604089.pdf](http://www.soumu.go.jp/main_content/000604089.pdf)

結局いつ木造天守ができるかわからないのに、もうすでに借金はしちゃって木も買って基本設計・実施設計も払っちゃったと。

どうするのっていうのは、国との関係で非常に微妙なのではないかなっていうのが私としては最新の話題かなと思っております。

司会者：どんどん新しい話題が出てくるのでついてくるのが大変ですが。500億でなくて979億。それが総務省の許可がいるのですか？許可ではない？起債するのになというようになちょっと許可なのかなんなのかちょっと分かりませんが。

その総務省に説明中であるという説明中であるというのが答弁なんですね。何か総務省に説明をしないとイケないらしい。